

令和4年度大学コンソーシアムやまがた第1回幹事会議事録

日時：令和4年6月21日（火）13時30分～14時10分

場所：ゆうキャンパス・ステーション及びZoom使用によるWeb会議

出席者：委員長 出口 毅（山形大学）

副委員長 大桃 伸一（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）

熊谷 岳郎（山形県立保健医療大学）

佐々木 紀子（山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学）

委員 高桑 秀郎（羽陽学園短期大学）

内山 潔（鶴岡工業高等専門学校）代理：和田 真人（准教授）

三木 潤一（東北公益文科大学）代理：白田 裕司（教務学生課長）

齋藤 真幸（放送大学山形学習センター）

金丸 利博（山形県）

石塚 宗（山形県立産業技術短期大学校庄内校）

平田 忠宏（山形県立農林大学校）

栗山 恭直（企画会議委員長／山形大学）

欠席者：野村 真司（東北芸術工科大学）

山田 敦子（山形県立産業技術短期大学校）

小幡 知之（山形工科短期大学校）

陪席者：柿崎 悦子（山形大学男女共同参画推進室准教授）

小山 和佳（山形大学エンロールメント・マネジメント部長）

伊藤 真由美（山形大学エンロールメント・マネジメント部教育課長）

笠原 明子（山形大学エンロールメント・マネジメント部教育課上席係長）

事務局：金子 誠、羽角 扶美

会議に先立ち、事務局から今年度新たに委員になった5名の紹介及び幹事会成立の報告があった。

協議事項

1 幹事会委員長等の選任について

委員長から、幹事会委員長及び幹事会副委員長の任期2年が終了しているため選任する必要がある旨会則に基づき説明及び確認の後、委員長から、自薦他薦願いたい旨発言があった。

次いで、委員長から、自薦他薦がないことからこれまで担当いただいた機関に引き続きお引き受け願いたい旨述べられ、諮られた結果、以下のとおり了承された。

（新役員）

委員長 出口 毅（山形大学）

副委員長 野村 真司（東北芸術工科大学）

同 大桃 伸一（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）

同 熊谷 岳郎（山形県立保健医療大学）

同 佐々木 紀子（山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学）

（敬称略）

新委員長挨拶

ウィズコロナということで手探りであるが、これまでコンソーシアムやまがたで行ってきた事業について連携しながら取り組んでいくとともに、高等教育機関で共通する課題であるダイバーシティの問題なども協議しながら取り組んでいただきたい旨の挨拶があった。

2 令和3年度事業報告について

事務局から、資料1に基づき、詳細な説明があった。

次いで、委員長から、既に3月の書面会議にて協議され、了承を得ているものであるが、再度、説明を行った旨述べられた。

また、昨年度は人が集まるということができなかったが、今年度は、大学の説明会等が増えているということもあるので、少しずつ従来の活動に戻していきたい旨発言があった。

おって、委員長から、諮られた結果、了承された。

3 令和3年度収支決算（案）について

事務局から、資料2に基づき、繰越金を財源とし機関負担金の徴収を行わなかった等の内容説明及び収入決算額4,857,061円から支出決算額の1,667,510円を差し引いた3,189,551円が、令和4年度への繰越額となる旨説明があった。

4 監査報告について

事務局から、令和3年度の会計監査について、本監査の前に事前監査として、5月25日に山形県総務部学事文書課から収入・支出決議書等すべての書類を確認願ひ、その後、6月1日に山形県総務部長の小林監事、6月6日に米沢栄養大学長の阿部監事から本監査をいただいた旨説明があった。

なお、定期総会においては、監事から直接ご報告願うこととしている旨補足説明があった。

次いで、委員長から、議題3,4については、事務局から説明があった収入については、活動が未実施のものが多くが想定されたため機関負担金徴収しなかったということ、未実施の事業については、執行が0円というところが非常に多く執行残という形で残っている旨述べられた。

また、活動が制限されており本来事務局の2名体制というところが11月まで1名であり、12月から1名の雇用を行ったために、そこでも執行残が生じたなど、諸般の事情等より書面会議以降に変更が生じた旨補足説明があった。

おって、委員長から、協議事項3,4について、審議願ひたい旨述べられ、諮られた結果、了承された。

5 令和4年度機関負担金（会費）（案）について

事務局から、資料4及び参考資料に基づき、昨年度の総会でご承認いただいていること、前回の書面会議説明資料等で記載説明している旨説明があった。

また、昨年度の各事業未実施に伴う執行残及び事務局雇用職員の12月からの雇用による雇用経費の執行残等により、令和4年度への繰越額が、3,189,551円となったこと、令和4年度の機関負担金（会費）収入については、繰越額を勘案し、収容定員割分の会費は徴収せず、機

関割分のみ2,115,750円を徴収することとなった旨説明があった。

次いで、委員長から、会費の内訳は、機関割、収容定員割で負担いただくこととなっているが、令和4年度についても繰越金が多いことから現実を踏まえ、機関割のみを徴収させていただきたい旨述べられた。

今後、活動を行っていくということ、以前と比べても、収容定員分の徴収をしなくても十分に活動できるという判断のもとでこのような形を提案させていただいた旨補足説明があった。

おって、委員長から、審議願いたい旨述べられ、諮られた結果、了承された。

6 令和4年度事業計画（案）について

7 収支予算（案）について

事務局から、資料5に基づき、事業計画書（案）については、第3期事業計画に基づき作成し、令和3年度の事業計画を継続する形としていること、また、今年度も感染状況等を勘案しながら実施していきたい旨の説明があった。

引き続き、事務局から、資料6に基づき、収支予算（案）について、「機関負担金収入」2,115,750円と、「繰越金」3,189,551円に「雑収入」39円を加え、収入予算額は5,305,340円となる。また、支出については、令和3年度の当初予算を基にほぼ同額を計上している旨説明があった。

次いで、委員長から、以下のとおり述べられた。

- ・新型コロナウイルス感染症については、かなりワクチン接種も進みいろいろと緩和も進んでいるため、今後の状況等を見極めながら、可能な限り今年は事業を実施していきたいと考えて予算化をしている。
- ・特に、学生による地域貢献・活性化プロジェクトは、各大学等の機関の活動レベル等を見極め、相談しながら実施したい。
- ・地域の中で大切な活動になる小学生を対象とした体験型学習の開催については、若年層で感染が広がっていることから、感染状況等の推移をみながら、開催していきたい。
- ・その他のことについては、オンライン等も活用しながら、できる方法を探していきたい。

なお、委員長から、昨年開催しなかったFD、SD研修会については、2年前には、コロナ禍でなかなか学生が仲間を作れない、学生の支援に対して専門的な研修ができない等課題が様々あったが、状況も変化しているので、各機関にテーマ等を募集させていただいた旨の補足説明があった。

その他、以下のような意見交換があった。

《東北公益文化大学 白田様（委員学部長二木様代理）》

- ・今年度また昨年度の繰越金等の予算をみながら配慮いただきありがたい。
本学でも飲食を伴うようなイベント等については、実施が難しいという判断をしている。それ以外は学生活動も含めて、新型コロナウイルス等の感染に十分配慮しながら、少しずつ戻しているところある。
- ・学生による地域貢献・活性化プロジェクトは、庄内地域も含めて、一緒に実施できるような企画を提案できるような形していただけるとありがたい。

- ・「やまがた夜話」については、遠方からでも参加できるような、オンラインの併用などを検討願いたい。

《委員長》

- ・特に、今の2年生3年生あたりは、山形の地域の中で、学生たちが活動するという経験をすることによって、学生生活が充実していくと思うので検討させていただきたい。
- ・コンソーシアムの存在意義という点でも是非オンラインも含めて皆様のご協力を得ながら、我々が持っている知識等を地域に還元していくという観点から検討させていただきたい。
- ・ご要望があれば随時事務局にお知らせいただくとともに、お近くにおいでの際は遊学館の2階にある新しい事務室にも立ち寄っていただいて、その場で意見等も伝えていただきたい。

《山形大学 栗山先生》

- ・「やまがた夜話」について、対面で実施するときはどうしても時間の関係で夜遅くまでの限られた時間で終える必要があったが、オンラインを使うことによって長めの企画も可能となる。
- ・また、今後は山形市から離れている機関の方にも夜話の担当をお願いできるようになる。是非よろしく願いたい。

《委員長》

- ・対面の良さもあるが社会的にもオンラインの機器等が普及してきているので、オンラインを使ってやることによって、冬期間の問題や受講される方のニーズ等も探りながら是非開催できる方法を探っていきたい。
- ・単位互換については、今後一度アンケートとらせていただきたい。時間割の違いや学生の移動も非常に大変ということもあって最近では進んでいない。今後はそういった意味では、オンラインを活用した単位互換というのにも必要に応じて相談させていただきたい。

次いで、委員長から、両議題について審議願いたい旨述べられ、諮られた結果、承認された。

8 令和5年度機関負担金（会費）（案）

委員長から、各機関においては、早めに予算に組み込む関係があり、例年、この時期に来年度の機関負担金（会費）について提案している旨述べられた。

引き続き、事務局から、資料7に基づき、令和5年度はコロナ禍以前の収容定員割を入れた負担金額となっている旨説明があった。

次いで、委員長から、昨年までの違い、活動を戻していくという前提のもとで、令和5年からはコロナ禍以前の収容定員割も含めた負担金をお願いしたい旨述べられた。

おって、委員長から、諮られた結果、幹事会としては、了承された。

なお、委員長から、6月30日開催の定期総会において審議の上、最終決定となる旨付言があった。

【配付資料】

- 番号なし ・ 幹事会名簿、会則、令和3年度第2回幹事会（書面会議）の結果について
（令和4年3月28日開催（書面会議））
- 資料1 令和3年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料2 令和3年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書（案）
- 資料3 監事監査に関する資料（6月6日：監事監査）
- 資料4 令和4年度 機関負担金（会費）（案）
（参考） 令和4年度 機関負担金（会費）（令和3年8月5日総会承認）
- 資料5 令和4年度 事業計画書（案）
- 資料6 令和4年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
- 資料7 令和5年度 機関負担金（会費）（案）

議事録署名人

幹事会委員長／山形大学理事・副学長

